

6月から練習再開です。

TOPICS

今月の練習予定

音板打楽器の話

GENERAL PAUSE

今月の練習予定

6月の練習予定です。

月	練習日	合奏の時間	曲目
6月	4日	19:30~21:00	音の祭典の練習
	11日	19:30~21:00	音の祭典の練習
	18日	19:30~21:00	音の祭典の練習
	25日	19:30~21:00	音の祭典の練習
7月	2日	19:30~21:00	音の祭典の練習
	9日	19:30~21:00	音の祭典の練習

6月から練習再開です。

7月号の広報で祭典の出演募集が公募されます。現時点では、祭典を開催する方向で各方面が動いておりますので、吹奏楽団も応募します。

音板楽器の話

某楽器メーカーから年4回、季刊誌が筆者のところに届きます。その時の音楽話題や新しい楽器情報が掲載されています。楽器の紹介では、他の楽器のことを知るのにちょうどわかりやすく書かれているので、楽しみにしています。

今回の特集はチャイムでした。チャイムって「キンコンカンコン」とFdurでなるチャイムではありません。某カラオケ番組で、歌が上手な人に「キンコンカンコンキンコンカンコン」と乱打しているあのチャイムです。

1880年にアメリカでオーケストラピッチに合わせたチャイムが開発されたそうです。チューニングされた中空音管の上部を木槌などのバチで叩き、音管を振動させて音がなるという構造で、マリンバ・シロフォ

ン・グロッケンシュピールなどと同じ「音板打楽器」に属するそうです。

オーケストラの曲で吹奏楽でも演奏される、チャイコフスキーの「大序曲1812年」では終盤に登場します。その楽譜には「鐘」としか指示がされていないという話を聞いたことがあります。

スウエアリンジエンの「ノヴェナ」では、フルート・クラリネット・アルトサックスのアンサンブルの裏でチャイムが厳かに鳴り響きます。

コダーイの「ハーリ・ヤーノシュ」では、第二曲「ウィーンの音楽時計」の冒頭に、軽快で華やかにチャイムがなります。

編集後記

高校生の頃、コンクールでチャイムを何度か運んだことがあります。大変気を使う楽器でして、傷をつけないように音管をはずして毛布に包んで、運んで組み立てて・・・という記憶があります。なので、コンサートでチャイムの音を聴くと、その労力を知っている分、感動が割増されるわけです。 <了>